

【担当省庁】国土交通省

(現状・課題)

- 当該地域は大阪都市圏に隣接し、国道25号と国道168号が重複する約1.2kmの区間は、大阪と奈良を結ぶ幹線道路、及び奈良県西和地域の南北を結ぶ幹線道路で、平常時・災害時を問わない安定的・円滑に利用可能な道路ネットワークの一翼を担うべき重要区間です。付近の道路ネットワークにおいては、バイパスとしての「いかるがパークウェイ」、ならびに奈良県による国道168号の4車線整備といった道路改築が着実に進んでいます。
- 一方、当該区間は2車線で供用されていることから、ボトルネック箇所となつて渋滞が解消されず、長年の課題となっています。また、当該区間沿道は、西和消防署・西和医療センター・恵王病院といった救急救命に関する機関が集中するエリアとなっており、救急搬送の円滑化が求められています。
- さらに、国道25号は、第1次緊急輸送道路及び重要物流道路に指定されています。近年、激甚化・頻発化する豪雨災害や今後30年以内に80%の確率で発生すると予想されている南海トラフ地震の発生時における、交通機能・防災機能確保のため、当該区間の早期の道路改良を実施し、西和地域の国土強靱化を強く推進する必要があります。
- 古くから鉄道交通の発達により交通のまちとして発展してきた王寺駅周辺においては、さらなる発展を目指し、西和地域の中核となる拠点機能を強化するまちづくりを進めています。また、2037年にはリニア中央新幹線の全線開業が予定されています。当該区間の改良と同時に王寺駅南駅前へのアクセスを改善することで、道路整備との相乗効果により、西和地域の更なるポテンシャルの向上が図られ、ストック効果を早期に発現させ、西和地域の地方創生が躍進します。



国にお願いすること

- 西和地域のまちづくり・国土強靱化のため、平常時・災害時を問わない安定的・円滑に利用可能な広域道路ネットワークを構築するための道路予算の確保
- 当該区間における恒常的な渋滞の把握・原因分析ならびに将来の王寺駅周辺へのアクセス性を加味した「4車線整備の新規事業化」を含む抜本的な改良の早期検討及び必要な道路予算の確保